

## What is there

コメをみる ※ コメにみる

山本雄教展 Yamamoto Yukyo Exhibition

### ステートメント

茶碗に入った一粒の米、財布に入った一円玉、そんなすぐそこにあるものこそが、実際はあらゆるものにつながっている。

「一枚の葉っぱが手に入ったら、宇宙全体が手に入るでしょう。」

これは日本画家の小倉遊亀が師の安田靉彦から受けた言葉です。描く対象に無心で接することを説いた言葉ですが、私はその本来の意味とともに、葉っぱという小さな対象が宇宙という遙かにスケールの大きなものにつながっていくところに、視界が一気に開けるような感覚を覚えました。

一枚の葉っぱが足下に落ちていたとしても、見ようとしなければそれはただの葉っぱでしかなく、あるいは葉っぱですらありません。しかしひとたびそこに目を向ければ、そこには宇宙を見るかのような世界が広がっている。安田靉彦の言葉から、私はそのような思いを持ちました。

私はそんな広がりやを、日常生活の中で見落としてしまいがちな些細なものから見つけたいと思っています。例えば一粒の米から、一円玉から、自分の暮らす社会や世界全てにつながるような感覚を得られたら、それはまさに目の覚めるような出来事です。

ミクロの世界が、様々な問題、疑問、不安、面白さ、希望を含んだマクロなものに変わっていく、そんな体験をすることができる作品を私は生み出したい。

一粒の米が手に入ったとき、宇宙全体は手に入るだろうか。

山本雄教

### 作家略歴

山本雄教 YAMAMOTO Yukyo

- 1988 京都生まれ
- 2010 成安造形大学 日本画クラス 卒業
- 2011 成安造形大学 研究生 修了
- 2013 京都造形芸術大学大学院修士課程ペインティング領域 修了

### 【個展】

- 2010 連続していく対象 (ギャラリーはねうさぎ/京都)  
米騒動 (成安造形大学コンテンポラリーギャラリー/滋賀)
- 2011 どこへ行く (ギャラリーはねうさぎ/京都)  
し・てん (gallery PARC/京都)

### 【おもなグループ展】

- 2007 今-toki-展 (gallery maronie/京都'08,'09,'10,'11,'12)
- 2009 HOPEWORK (ギャラリーCASO/大阪)
- 2010 I♡あめりか (ギャラリーはねうさぎ/京都)  
第2回 Kyoto Current (京都市美術館別館・高島屋京都店)  
- 輪 - 成安造形大学日本画クラスグループ展 (むろまちアートコート/京都)
- 2011 K2展vol.4 (京都市美術館別館'12,'13)  
画心展vol.8 (むろまちアートコート/京都'12)  
表面張力 (ARTZONE/京都)  
ZOU-日本画or Not- (ギャラリーCASO/大阪)  
十一の海 (SPACE NIO/東京)  
黎明展 (ギャラリーい/京都)
- 2012 日本画家のオブジェ展 (gallery maronie/京都)  
画心展selection vol.2 (佐藤美術館/東京、康耀堂美術館/長野)  
fitting room (Gallery Ort Project/京都)  
SPURT2012 (Galerie Aube/京都)  
紙技百藝2012 (雅景雫/京都、時折/名古屋、HIGURE17-15 cas/東京)  
ZOU-日本の絵- (gallery maronie/京都)  
ASIA&RICE 2012 (ソリアートセンター/韓国チョンジュ)  
現代アート展 (大津百町館/滋賀)
- 2013 贈展 (ギャラリー恵風/京都)  
画心展selection vol.3 (佐藤美術館/東京)

### 【賞歴】

- 2010 「成安造形大学卒業制作展」日本画賞 (京都市美術館)
- 2012 「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」入選 (京都文化博物館)  
「ART AWARD NEXT2012 Vol.2」審査員賞 (東美アートフォーラム/東京)  
「公募 日本の絵画2012」入選 (永井画廊/東京)
- 2013 「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」公募部門大賞 (京都文化博物館)  
「美術新人賞デビュー2013」準グランプリ (ギャラリー和田・フジ中画廊/東京)

### 展覧会について

今回出品する作品は、主に米を線描で描いたものです。

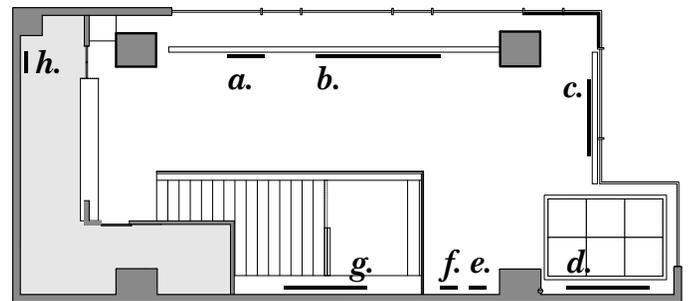
線描で描かれた米は、パール顔料という光沢性のある画材を使っているため、角度や距離によって見え方が大きく変わります。

その見え方の変化はあくまで視覚的な問題ですが、しかしその角度や距離というのは私たちの生活に対する眼差しともリンクするのではないのでしょうか。

普段みているものを違う角度や距離からみってみる、そのことによってみえてくるものは違っていきます。それは普段食べている米に思いを馳せることかもしれませんし、もしくは米とは全く関係ない何かかもしれません。

そのような様々な「みる」ことがこの展覧会から生まれればよいと思います。

### 出品作品リスト



#### a. one rice

2013 910×727mm 麻紙

#### b. white rice

2013 1830×2700mm 麻紙

#### c. rainbow rice

2013 1830×1800mm 麻紙、パール顔料

#### d. rainbow rice

2012 920×1910mm 麻紙、パール顔料

#### e. silver rice

2010 530×455mm 鳥の子紙、パール顔料、胡粉

#### f. silver rice

2010 530×455mm 鳥の子紙、パール顔料、胡粉

#### g. 米と箸

2012 1250×1840mm 鳥の子紙、パール顔料、胡粉、墨、顔料

#### h. rainbow rice

2012 606×727mm 鳥の子紙、パール顔料

#### i. one rice

silver / gold / red / blue / Purple / green  
2013 直径110mm 麻紙、パール顔料